

保護者 様

富士市立吉原小学校  
校長 鈴木 幸人

令和3年度第2回学校評価アンケート集計結果及び来年度の教育課程について

梅花の候、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。  
昨年末に児童、保護者の皆様、職員を対象に実施した学校アンケートの集計結果をもとに、今後の本校の教育活動の在り方について検討しましたので、お知らせします。



※評価段階はすべて「はい」「どちらかといえば、はい」「どちらかといえば、いいえ」「いいえ」の4段階です。学校経営方針(グランドデザイン)の目標は、「はい」と「どちらかといえば、はい」を合わせた割合となっています。

\*安心・安全な環境づくり

○学校が楽しいです

	前期	後期	目標:90%
児童	95.7	94.3	
保護者	97.4	95.7	

後期も、多くの子供たちが、学校の中に自分の居場所があると感じ、楽しく充実した毎日を過ごすことができました。保護者の皆様にも、安心して学校に送り出していただくことができました。今後も、唯一無二のかけがえのない一人一人を大切に、それぞれのよさを伸ばす関わりを心掛けてまいります。

○交通安全に気を付けて登下校できています

	前期	後期	目標:74%
児童	95.5	97.5	
保護者	92.4	94.0	



【4月 交通安全教室】



【1月 避難訓練】

交通安全への全体的な意識は非常に高いことが分かります。しかし、これとは別に「信号を守る」「横断歩道を渡るとき、左右を確認する」「縁石に乗ったり、横に広がって歩いたりしない」「車道にはみ出ない」など、個々のルールを守ることができているかどうかを尋ねたアンケートでは、省みるべきところが多くあることが分かりました。また、登下校中の大きな事故は発生しなかったものの、けがの件数は増加しています(R2: 68件→R3: 85件)。こうした結果を踏まえ、今後は学級活

動やなかよし山学習などを通して、安全教育の充実を図っていきたいと考えています。また、避難訓練や防犯訓練についても、児童自らが考え行動できるよう、方法や形態を工夫して実施してまいります。

**\*知(確かな学力の育成)**

○授業(学習したこと)が分かっています

	前期	後期
児童	91.8	90.6
保護者	88.9	91.5

目標:89%



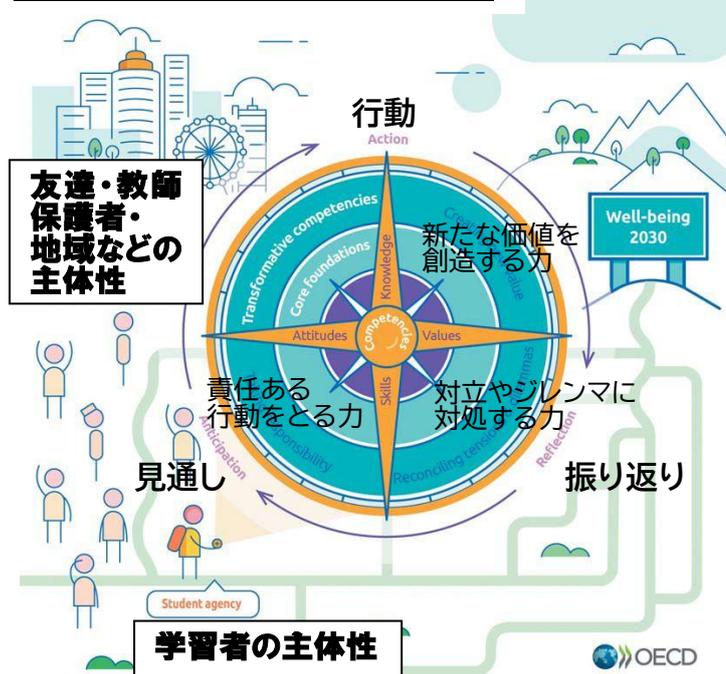
○分からないことや疑問に思ったことを、友達や先生に聞いています

	前期	後期
児童	85.2	86.0
保護者	80.2	80.8

目標:90%



**OECDラーニングコンパス 2030**



デジタル化、グローバル化、地球規模での感染症拡大や気候変動による自然災害など、変化が激しく予測困難な時代を迎えています。子供たちには、そのような時代をたくましく生き抜き、よりよい社会をつかっていく力を身に付けていかなければなりません。OECD(経済協力開発機構)によれば、これからの時代には、「新たな価値を創造する力」、「対立やジレンマに対処する力」「責任ある行動をとる力」の三つが必要になるそうです。

この力を育むためには、「こうしたらうまくいくのでは?」とわくわくしながら見通しを持ち、実際に主体的に行動し、他者(友達・教師・保護者・地域)と関わりながら「こんなこともできそう!」と振り返る、という学習のサイクルを回し続けることが重要です。

そこで、本校では、知識を丸暗記するのではなく、具体物を操作しながら考える学習活動や、事例を挙げて友達に伝え合うことによって、より深く考えることができるような学習活動を積極的に取り入れてきました。また、GIGAタブレットを活用し、AIドリルで補充的な学習をしたり、興味を持ったことを調べる自主学習を推奨したりしてきました。さらには、SDGsの視点から身近な生活を捉え直し、自分に何ができるか考える場面を設定するなど、一人一人が「方位磁針(コンパス)」を手に、自ら多様な方向性を探っていくことができるよう努めてきました。

○学校でタブレットやパソコン、書画カメラを使って学習しています

	前期	後期
児童	83.4	83.8
保護者	59.7	72.3

目標:82%



こうした取組が、一定の数値となって表われています。今後も、子供がどのような問いや興味をもっているのかをしっかりと見取りながら、その思いを適切な関わりによって価値付け、問題解決までの見通しを持てるようにしたり、子供同士のやりとりへとつなげたりして、粘り強く学習に向き合っていくことができるよう、授業の在り方を研究してまいります。

**\*徳(豊かな心を育む)**

○みんなで決めた「(すてきな)挨拶」を自分からしています

	前期	後期
児童	86.4	85.7
保護者	85.0	87.8

目標:85%



○「あったか言葉」を使って話しています

	前期	後期
児童	88.2	88.7
保護者	82.2	82.3

目標:86%



【PTA 愛の一声運動】



【人間関係づくりプログラム】



【縦割り 愛校活動】

すてきな挨拶と温かな言葉遣いは、相手と笑顔でつながる必須アイテムです。

年度当初、理想の挨拶について各クラスで話し合い、「明るく」「元気に」「笑顔で」「自分から」「目を見て」「時と場に応じて」など、目的意識を持って挨拶活動に取り組んできました。

また、「人間関係づくりプログラム」を取り入れ、ゲームを楽しみながら、自分の考えの伝え方や、相手を大切にする声の掛け方などについて学ぶ場を設定してきました。

来年度はこうした取組をさらに拡充し、学級会活動に重点をおきます。友達の意見を分かろうとして聞いたり、話し合ったことを生活に生かそうとしたりする中で、「自分たちで学級や学校をよりよいものにしていこう」という意識を高められるようにしていきたいと考えています。また、掲示物などを通してこうした取組を視覚化することで、いつでも自分たちのよさを分かち合い、振り返る材料となるようにしていきます。

**\*体(健やかな体をつくる)**

○自分の目標をもって、運動しています

	前期	後期
児童	78.6	80.1
保護者	90.7	88.8

目標:85%



○適切な睡眠時間を確保できています

	前期	後期
児童	74.2	76.2
保護者	85.9	90.7

目標:76%



今年度は、夏季と冬季のオリンピック・パラリンピックが行われ、いろいろなスポーツに触れて、心身ともに刺激を受けることができる貴重な年でした。一方で、コロナ禍の影響から、激しい呼吸を伴って友達と接触する運動をすることができず、体づくりの学習が困難を極めた年でもありました。体育カードや動画を活用したり、ボール投げや水泳、ハードル走の外部講師を招聘したりして、運動に親しむ環境を整える努力をしてきましたが、目標に到達することはできませんでした。

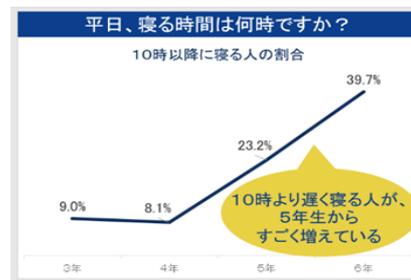


【体育実技講習会】

来年度もこうした状況が続くかもしれませんが、子供たちの健やかな成長を後押しできるよ

う、取り組んでまいります。御家庭での補足的な学習をお願いすることもあるかと思いますが、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

睡眠時間の確保については、ふれ愛ウィークでの取組や、睡眠講座の実施、保健指導などの成果が、数値となって表れています。来年度も継続して実施し、質の高い睡眠をとることなど、自分の生活時間をマネジメントする力を身に付けることができるよう指導してまいります。



【保健指導のスライドの一部】

### \*コミュニティ・スクールとして

○地域の人が学校のためにボランティア活動  
をしていることを知っています

	前期	後期
児童	85.6	91.5
保護者	94.4	95.7

○吉原小・伝法小・吉原第一中は、同じ学校教育  
目標になっていることを知っています

	前期	後期
児童	64.9	67.0
保護者	88.4	94.2

本校と伝法小学校、吉原第一中学校は、富士市教育委員会から「コミュニティ・スクール（CS）」に指定されています。CSとは、学校と地域住民等が力を合わせ、地域の宝である子供を共に育てていくという取組です。本校では、地域代表の皆様にお集まりいただき、学校の運営についてお諮りする会議を年に3回程度開催しています。また、今年度は、吉原一中にて、三校合同の協議会も実施いたしました。

現在、本校には、多くの保護者や地域の方々がCSボランティアに登録し、協力の手を差し伸べてくださっています。コロナ禍での活動となり、かなりの制約がある中ですが、登録者数は年々増加しており、皆様の温かい支援に感謝するばかりです。本当にありがとうございます。

こうした地域の皆様のお姿を拝見することは、子供たちが自分の将来について考える契機にもなっています。「何でも知っている畑の先生みたいになりたいな。」「消防団のみなさんのように、地域の安全を守る役割を果たしたい。」など、憧れの対象になっています。また、そうしたみなさんの活動を応援するために、自分たちにできることはないかと考える活動にもつながりました。

一中校区の学びのつながりについての職員間の研究も進んでいます。三校で作成した小中一貫カリキュラムが完成し、来年度から試行されます。また、小中の職員を交換しての乗り入れ授業など、授業における相互交流も進めていく予定です。

「あこがれ・チャレンジ・笑顔」という、小中一貫教育目標実現に向けて、「自分で みんなで まず一歩」踏み出す吉原小へのお力添えを、今後もよろしくお願いいたします。



【さつまいものつるさし】



【消防団とのプール清掃】



【だるま講座】